

講演

公民連携による広島県の水ビジネスの取組

谷口 淳
Jun Taniguchi

(株)水みらい広島
総務・企画部 総務・企画課 課長

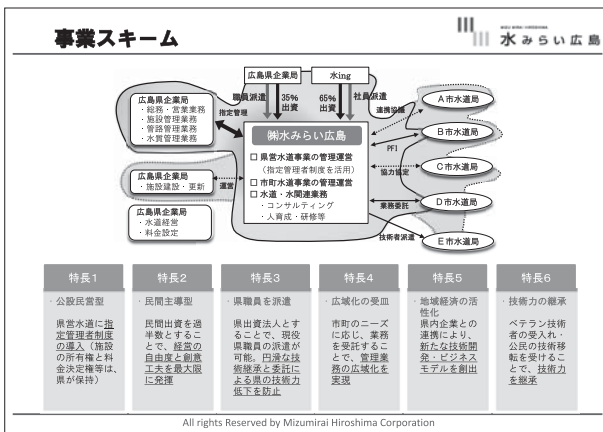
谷口様には、国内の水道市場が縮小していく中、どのようにして水道システムを健全に維持しながら水道事業を活性化し、より良いサービスを生んでいけるのか、水みらい広島をご紹介いただき、その取組みをご講演いただきました。

■ 講演内容～講演レジュメより～

現在、全国の水道事業者の多くは、人口減少社会の到来による給水収益の減少、職員の大量退職による技術力の維持、老朽化施設の更新費用の増加など、水道経営の根幹に係る課題に直面している。

広島県内でも、県営水道や市町水道で同様の課題を抱えており、こうした中、県では、将来にわたって安定的に維持できる水道システムのあり方を検討してきた。その結果、県や市町が単独でこれらの課題を解決することは困難との認識から、民間の人材や技術、ノウハウを活用した公設民営型の水道事業運営システムの構築や水ビジネスによる収益確保を目指すこととし、その実施主体として、2012年9月、公募によって選定した水ing(株)と「(株)水みらい広島」を設立した。

水みらい広島は、県が35%、水ing(株)が65%出資した民間主導型の公民共同企業体で、我が国の水道界において、このような公民連携は、初の取組である。この出資比率は、民間のノウハウを十分に投入してもらう一方で、水道に対する住民の信頼感や、民間の撤



当日のご講演資料より①

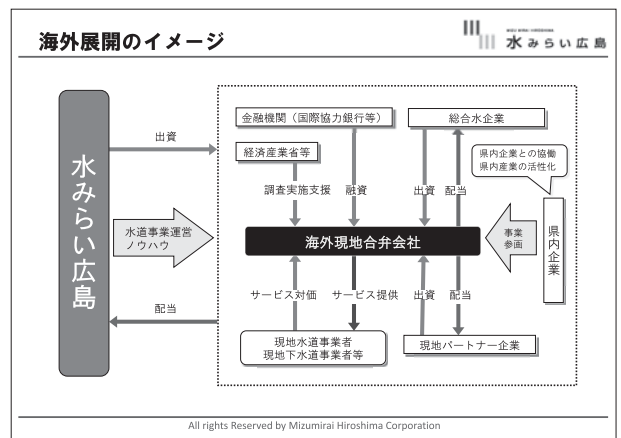
プロフィール



1994年 4月 広島県職員 (事務吏員) 採用
 広島県土木建築部港湾課
 1997年 広島県福山児童相談所
 2000年 広島県環境生活部消防防災課
 2004年 鳥取県企画部地域自立戦略課 派遣
 2006年 広島県自治総合研修センター
 2010年 広島県企業局水道課 (担当業務)
 ・広島県営水道中期経営計画 (県営水道ビジョン、県営水道経営プラン) の策定
 ・公民共同企業体 (現・(株)水みらい広島) の設立
 ・県営水道への指定管理者制度の導入
 2012年 10月 (株)水みらい広島 派遣

退・倒産リスクを公が担保するもので、効率性と安定性の両立を図ったものである。

2013年度から、水みらい広島は、県営広島西部地域水道用水供給水道の指定管理者として、取水施設から送水施設までの水道施設を一体的に管理運営し、内製化やIT化など、効率的な維持管理システムの構築を進めている。また、行政区域にとらわれない民間企業として、市町から水道施設の管理業務等を受託し、水道の広域管理の実現や、その延長線上に海外展開も見据えているところである。



当日のご講演資料より②



ご講演いただいた谷口氏